

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】平成21年11月5日(2009.11.5)

【公開番号】特開2006-175032(P2006-175032A)
【公開日】平成18年7月6日(2006.7.6)
【年通号数】公開・登録公報2006-026
【出願番号】特願2004-371555(P2004-371555)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】平成21年9月11日(2009.9.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ＩＣがハンダ付けされている表示制御基板を備えるパチンコ機であって、前記表示制御基板には、再利用されたＩＣがハンダ付けされており、また、前記表示制御基板に再利用されたＩＣが配設されていることを示す表示が施されていることを特徴とするパチンコ機。

【請求項 2】

ＩＣがハンダ付けされている表示制御基板を備えるパチンコ機であって、前記表示制御基板には、再利用されたＩＣがハンダ付けされており、また、前記再利用されたＩＣには、再利用されたＩＣであることを示す表示が施されていることを特徴とするパチンコ機。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載のパチンコ機であって、再利用された回数を示す表示が施されていることを特徴とするパチンコ機。

【請求項 4】

請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載のパチンコ機であって、前記表示制御基板には、前記ＩＣの周囲に、当該ＩＣを取り外す取り外し治具を配置可能なスペースが設けられていることを特徴とするパチンコ機。

【請求項 5】

請求項 4 に記載のパチンコ機であって、前記取り外し治具は、基板に配設されているＩＣに熱風を吹き付けることでＩＣと基板を接続しているハンダを溶融するノズルであり、前記ＩＣの周囲には、前記ノズルを配置可能なスペースが設けられていることを特徴とするパチンコ機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

第 1 発明は、請求項 1 に記載されたとおりのパチンコ機である。

請求項 1 に記載のパチンコ機は、ＩＣがハンダ付けされている表示制御基板を備えるパ

チンコ機であって、前記表示制御基板には、再利用されたＩＣがハンダ付けされており、また、前記表示制御基板に再利用されたＩＣが配設されていることを示す表示が施されていることを特徴とする。

「再利用されたＩＣが配設されていることを示す表示」の態様としては、表示制御基板に再利用されたＩＣが配設されていることが判別できる態様であればよく、マジックインキ等でマークが付される態様、表示制御基板固有の識別情報として当該表示制御基板に再利用されたＩＣが配設されていることを示す識別情報が印字されたシールが貼付される態様が含まれる。

請求項１に記載のパチンコ機によれば、表示制御基板の外観により、この表示制御基板に再利用されたＩＣが配設されているか否かを判別することができる。

第２発明は、請求項２に記載されたとおりのパチンコ機である。

請求項２に記載のパチンコ機は、ＩＣがハンダ付けされている表示制御基板を備えるパチンコ機であって、前記表示制御基板には、再利用されたＩＣがハンダ付けされており、また、前記再利用されたＩＣには、再利用されたＩＣであることを示す表示が施されていることを特徴とする。

「再利用されたＩＣであることを示す表示」の態様としては、当該ＩＣが再利用されたＩＣであることが判別できる態様であればよく、例えば、マジックインキ等でＩＣのパッケージに付されたマークが付される態様が含まれる。

請求項２に記載のパチンコ機によれば、再利用されたＩＣを区別し易い。

第３発明は、請求項３に記載されたとおりのパチンコ機である。

請求項３に記載のパチンコ機は、請求項１または２に記載のパチンコ機であって、再利用された回数を示す表示が施されていることを特徴とする。

「採用された回数を示す表示」の態様としては、ＩＣが再利用された回数を判別できればよく、マジックインキ等で表示制御基板の表面側に再利用回数を示すマークが付される態様、表示制御基板固有の識別情報として再利用回数を示す識別情報が印字されたシールが貼付される態様が含まれる。また、マジックインキ等でＩＣのパッケージに再利用回数を示すマークが付される態様が含まれる。

請求項３に記載のパチンコ機によれば、ＶＤＰ等のＩＣの再利用回数がわかるので、再利用回数の上限回数が設定されている場合、さらに再利用可能であるか否かを判別するのが容易である。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００５】

第４発明は、請求項４に記載されたとおりのパチンコ機である。

請求項４に記載のパチンコ機は、請求項１～３のいずれかに記載のパチンコ機であって、前記表示制御基板には、前記ＩＣの周囲に、当該ＩＣを取り外す取り外し治具を配置可能なスペースが設けられていることを特徴とする。

請求項４に記載のパチンコ機によれば、表示制御基板に配設されているＩＣを、治具を用いて表示制御基板から容易に取り外すことができる。したがって、ＩＣを容易に再利用することができ、パチンコ機のコストを有効的に低減することができる。また、廃棄物を少なくすることができるので、環境問題に貢献することができる。

第５発明は、請求項５に記載されたとおりのパチンコ機である。

請求項５に記載のパチンコ機は、請求項４に記載のパチンコ機であって、前記取り外し治具は、基板に配設されているＩＣに熱風を吹き付けることでＩＣと基板を接続しているハンダを溶融するノズルであり、前記ＩＣの周囲には、前記ノズルを配置可能なスペースが設けられていることを特徴とする。

「ノズル」は、ＩＣの取り外し装置に設けられ、取り外すＩＣのみに（局所的に）効率

良く熱風を吹きつけるために、ＩＣの周囲を囲む囲い形状（例えば、筒型形状）の治具を示す。

請求項５に記載のパチンコ機によれば、再利用するＩＣの周囲には、ＩＣの取り外し装置のノズルを配置可能なスペースが設けられている。したがって、ＩＣを取り外す操作が簡単である。